

当院整形外科をご利用の患者さんまたはご家族の方へ

「CT 画像を用いた、高齢者における中臀筋の萎縮度合と歩行能力との関係」
に関する臨床研究について

このたび当院では上記臨床研究を実施しています。本研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。患者さんのプライバシーの保護については法令などを遵守して研究を行います。本研究へのご理解ご参加の程よろしくお願いいたします。

1. 研究の目的 及び 意義

当院整形外科では多くの高齢患者さんが、転倒によるケガや運動器疾患で体動困難となり入院されています。多くの患者さんは、リハビリテーションの末、歩行できるようになり退院されていきます。一方で、歩行補助具を用いても歩けなくなる方もおられます。その違いの要因として加齢に伴う中臀筋の萎縮が関与している可能性があります。

中臀筋は立位・歩行時のバランスの安定に重要な筋肉とされています。中臀筋の萎縮が強いと、バランスをうまく取れず立ち上がれなくなったり、一歩が出にくくなったりすることが考えられます。

本研究の目的は CT 画像における中臀筋の萎縮度合いと高齢者の歩行能力との関係を明らかにすることです。日々多くの方が撮影されている腹部 CT 画像には中臀筋も含まれており、多くの患者さんで中臀筋の萎縮度合いを評価することが可能です。私たちは本研究により、患者さんの歩行能力を簡易的に評価することで治療に役立ったり、予防的に中臀筋を鍛えることでふらつきによるケガなどの不利益を減少させる事に貢献できる可能性があると考えています。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2021 年 4 月 1 日から 2030 年 3 月 31 日の期間に飯山赤十字病院で
中臀筋が含まれる範囲の CT 画像を撮影した方

2) 研究実施期間

2026 年 8 月 1 日から 2030 年 3 月 31 日の間

3) 使用する試料・情報

- ・既存のカルテ情報 年齢、性別、身体所見、歩行能力に関する記述、
リハビリテーションの経過記録
- ・既存の CT 画像

4) 研究方法

CT 画像から得られた中臀筋の萎縮状態と、カルテ情報から得られた歩行能力との関連を調べます。

5) 試料・情報の保存

患者さんを直接特定できる個人情報を削除し、匿名化した上で、外部からアクセスできない院内のパソコン内に当科が責任をもって保存します。

保存期間は本研究終了（あるいは中止）後 5 年間とします。

6) 研究成果の取扱い

ご参加頂いた患者さんの個人情報がわからないようにした上で、今後の医学の発展に役立つように研究成果を学会や学術雑誌などで発表していく予定です。

7) オプトアウトについて

本研究は、飯山赤十字病院 倫理委員会の審査を経て、院長の承認も得て実施しています（倫理審査承認番号 2026-3）。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担(CT 撮影や診察など)は一切なく、診療情報などの既存情報のみを用いて研究を行います。

このような場合は国が定めた倫理指針に基づき、「オプトアウト」という手法で患者さん一人一人に説明し同意を得なくても研究が可能となります。オプトアウトとは、あらかじめ研究内容の詳細について Web サイト等で情報公開を行い、患者さんが拒否できる機会を保障することで研究へのご賛同が得られたとすることです。

もしあなたの診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記にお申し出ください。情報の使用を断られても患者さんに不利益が生じることはありません。なお、研究参加拒否の申出が、既に解析を開始又は結果公表等の後となり、当該措置を講じることが困難な場合もございます。その際には、十分にご説明させていただきます。

8) 問い合わせ・連絡先

この研究についてご質問等ございましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

飯山赤十字病院 整形外科

研究担当医師 中西 芳応

連絡先（電話番号） 0269-62-4195（平日：8 時 30 分～17 時）

飯山赤十字病院 整形外科

2026 年 8 月 1 日作成